

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ!

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和4年1月27日 13号

人権 HR②「拉致問題の解決のためにできることを考えよう」



12月1日(水)4限目と翌週12月8日(水)4限目の時間は、全校生徒を対象とする人権ホームルームとして北朝鮮による拉致問題について考えます。

12月8日は、吉見 美保(よしみ みほ)さんによるご講話「家族を取り戻す～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」を傾聴し、拉致問題の解決のためにできることをホームルームで考え共有しました。

吉見 美保(よしみ みほ)さん

吉見さんは特定失踪者 秋田美輪さんのお姉様です。吉見さんは、2019年5月19日にニューヨークの国連本部で開催されたシンポジウムにおいて、「北朝鮮にいる家族を取り戻したい」という家族の願いをスピーチされました。また、JR岐阜駅前等における街頭署名活動等、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための活動を行っておられます。



秋田美輪

- 1964年1月25日生まれ
- 失踪当時21歳 大学4回生
- 弁天浜で靴とカバンの発見者は、12月5日朝浜に打ち上げられるイカを探しに来ていた。イカは、雨の後打ち上げられることが多い。
- 当日早朝に雨が降っていたが、靴もカバンも濡れていなかった
- カバンには、急行券が入っていたが、100から150kmのもので、竹野駅へ行くために乗り換える駅まで乗れないもの
- 2,3日後の授業で用いるレポートが大学のロッカーに残されていた

「家族を取り戻す～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」

1985年12月4日失踪

吉見さんの妹「秋田美輪」さんは、1985年(昭和60年)12月4日、21歳大学生の時に突然いなくなりました。大学4回生の12月、大学で授業を受け、友人と学食で昼食をとり、門前で別れる。その日の20時頃、兵庫県川西市の自宅へ「友人の下宿に泊まる」と連絡あり。その翌日朝8時頃、兵庫県城之崎警察署から「弁天浜で靴とカバンが見つかった」と連絡がありました。美輪さんは大学の校門前で友人と別れたのを最後に消息を絶ち、翌朝、兵庫県川西市にあった実家から100キロ以上も離れた竹野町(現豊岡市)の弁天浜で靴とカバン発見。発見された朝は雨が降っていましたが、靴とカバンは濡れていませんでした。カバンには未使用の切符も残されていました。また、失踪から数日後の大学の授業で用いるレポートが大学の個人ロッカーに残されていました。これらの事から家族は自殺だとは信じられませんでしたし、調書を作成していた城之崎署の警官も「北朝鮮かもしれない」とつぶやいていました。



1985(昭和60)年から1997(平成9)年

日本国内で見つかる身元不明の遺体の写真を確認しに行ったり、新聞の尋ね人欄に掲載、北朝鮮による拉致ではないかと政治家へ訴えたりなどの活動を続けてきました。

1987(昭和62)年

11月に起きた大韓航空機爆破事件はソウルオリンピックを妨害する目的で北朝鮮が起こした事件でした。日本のパスポートを使った北朝鮮の男女工作員が大韓航空機に乗り、爆発物を仕掛けて途中で降りました。男性工作員は自殺、女性工作員の金賢姫は自殺を阻止され、その後の取り調べで日本人としてスパイになるための教育を「李敏」という日本から拉致されてきた女性から受けたと証言しました。それが田口八重子さんであることがわかりました。



田口八重子さん

1997（平成9年）年、横田めぐみさんの拉致報道

1987年から1997年は北朝鮮による拉致について報道も政府も動きませんでした。1997年1月亡命した北朝鮮の工作員に聞いた話として「金正日の拉致指令」という論文が発表されました。その中に書かれた13歳の少女が横田めぐみさんです。亡命工作員「安明進」は、北朝鮮国内に生きている他の日本人拉致被害者の存在も証言しています。

2002（平成14）年、北朝鮮が拉致を認める

9月17日、小泉純一郎首相が訪朝し、金正日第一書記が13人の日本人を北朝鮮による拉致被害者として認めました。その後、拉致被害者5人が帰国しましたが、その時点で日本政府は曾我ひとみさんが拉致被害者だと把握していませんでした。

北朝鮮から帰国した蓮池薫さんは、北朝鮮は日本の100年前の生活をしており、自然災害にも弱く、飢饉も度々起きていると証言。世界の最貧国であるともいわれています。日本からの援助が欲しくて日朝首相会談が行われ、5人の拉致被害者が一時帰国する予定で日本に帰国しましたが、北朝鮮には帰さず、その家族を北朝鮮から連れてくるように北朝鮮に要求し、拉致被害者家族が帰国しています。帰国するまで拉致被害者として日本政府に把握されていなかった曾我ひとみさんが帰国したことで、遺体が発見されていなくて、国内にいる様子もない失踪者の家族たちは「私の家族も拉致されたのではないかと」考えました。

拉致被害者は何人？

- 政府認定拉致被害者 17名（内5名は2002年10月に帰国）
- 政府拉致断定 北朝鮮籍の子供2名
- 2012年警察庁発表の拉致の可能性を排除できない失踪者：特定失踪者 873名

特定失踪者の事件の共通点

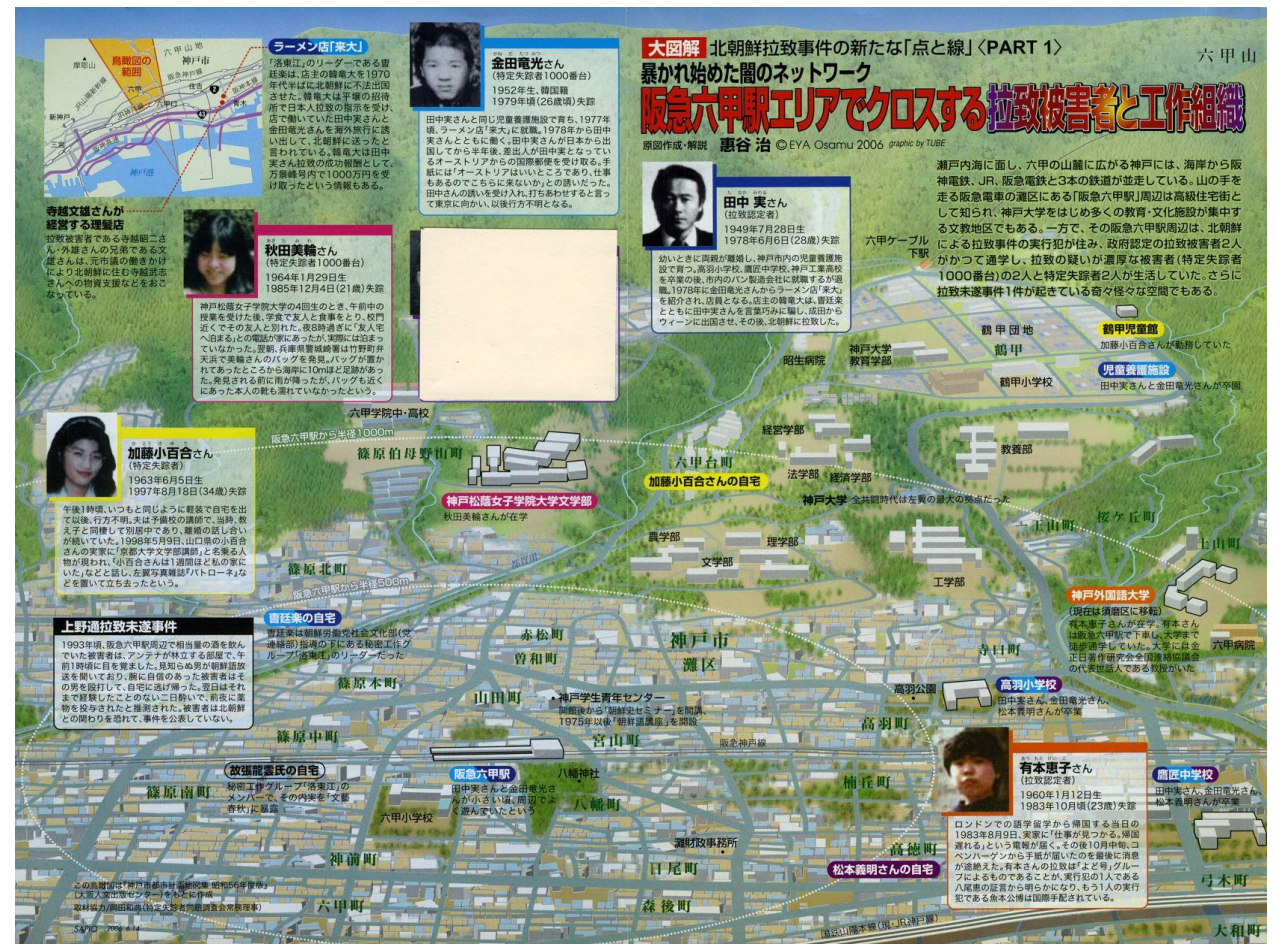
- 埼玉県川口市、兵庫県阪急六甲駅周辺のように同じ地域に関する失踪者が多い
- 1960年代：中学生・高校生が多い、1970年代：カップルや親子での失踪者が多い



- 1980年代中頃と1990年代初め：不審な若い女性の失踪が集中
- 失踪した男性の職業：土木工学、印刷技術、船舶技術など
- 失踪した女性の職業：看護師、電話交換手、編み物洋裁が得意な人など

兵庫県阪急六甲駅付近での失踪者

六甲駅周辺は、秋田美輪さんが消息を絶った大学があり、政府認定の拉致被害者 田中実さんも駅周辺の児童養護施設で育っています。そして2014年の北朝鮮との協議（ストックホルム交渉）で、北朝鮮が自国内にいたと言った金田龍光さんも同じ施設で育っています。また、政府認定拉致被害者の有本恵子さんは、秋田美輪さんの大学から500m離れた大学に通学していました。判明しているだけでこの地域から5人の被害者がでており、兵庫県警察はその児童養護施設で育った人で他にも2人可能性があるとしています。



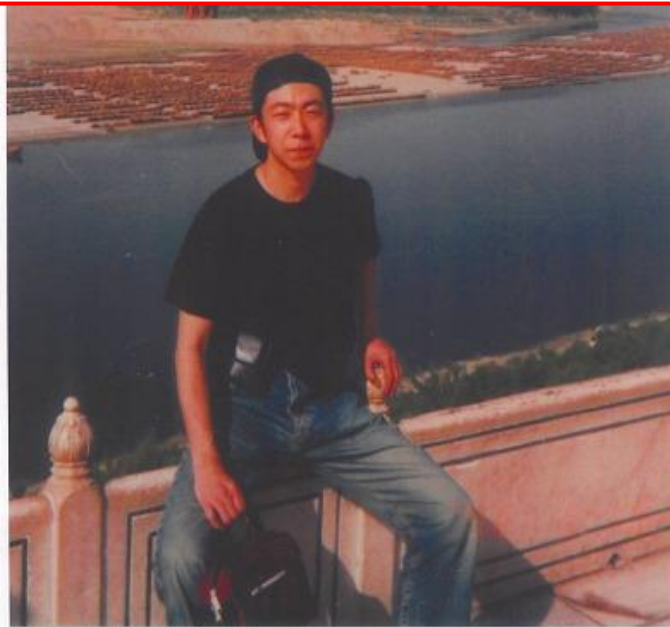
岐阜県内の特定失踪者

- 鷲見孝司 昭和47年3月3日 27歳

- 塚腰義正 昭和 48 年 11 月 8 日 24 歳
- 尾方晃 昭和 54 年 2 月末 23 歳
- 林雅俊 平成 10 年 5 月 12 日 23 歳

ご家族が公開している方で、北朝鮮の拉致の可能性を排除できない失踪者として岐阜県警察 HP に 4

名記載されており、岐阜県内からいなくなったのは林雅俊さんです。平成 10 年（1998 年）岐阜大学の大学院で土木工学を専攻し、卒業間近でした。越前海岸で通学に使っていた車が発見、遺書のように思われる文書を車の中のパソコンに残して失踪。しかしその文章は本人が書いたものとは考えられず、家族が自殺と納得するようなものではありませんでした。北朝鮮国内での目撃情報もあり、自殺偽装された拉致だと考えられています。



林 雅俊（はやし・まさとし）さん
昭和 50 (1975) 年 1 月 20 日生 垂井町出身 岐阜県立大垣南高等学校卒業
平成 10 (1998) 年 5 月 12 日失踪当時 23 才（岐阜大学工学部大学院在学中）

午前 9 時頃いつもどおりに大学院へ車で向かった。22:30 大学の指導スタッフと別れる。この日の夜は帰宅しなかった。それまでも卒業などで朝帰りや泊まり込みがあったので帰宅しなくても不思議ではなかった。5 月 13 日福井県越前町の海岸に車が止まっているとの電話が四ヶ浦駐在所から自宅にある。車は海岸の釣り場を下りて行くところ（本人は釣りはやらない）で、下りて行く道を塞いだように停まっていた。当日早朝から止めてあった模様。ドアはロックしてあり、中にパソコン、財布、免許証などすべて置いてあった。座席のリクライニングは倒れていた。パソコンには当日 02:03 に「このパソコンは義兄にあげる。ゼネコンはいやになった。道を間違えた」と書かれていたが、書き込みは本人が書いたものと思われず偽装の疑いがある。その後無言電話が 1~2 か月間続いた。1 回女性の声で「雅俊さんいませんか」という電話があった。

※写真は失踪した年にインドを旅行した時のもの

被害者家族の努力

- ◆ 各地での街頭署名運動
- ◆ 政府への訴え
- ◆ 国内各地での講演・訴え
- ◆ 集会やデモ行進
- ◆ 行政訴訟・国際訴訟
- ◆ 国際社会での訴え
- ◆ 北朝鮮国内へ短波ラジオ（特定失踪者問題調査会主催「しおかぜ」での呼びかけ）を毎日夜 22 時から放送

北朝鮮国内への短波ラジオ「しおかぜ」で毎日夜 22 時から拉致被害者や北朝鮮国民へ北朝鮮の人権侵害について呼びかけを行っています。北朝鮮にいる人たちは、自分の置かれている世界しか知らず、彼らが人権について知ることは北朝鮮政府には脅威です。「しおかぜ」に対する妨害電波が発せられていますが、被害者家族はこのような方法で北朝鮮と戦っています。

必ず助け出す！

すでに拉致被害者の 70% が 60 歳以上となっており、被害者家族の親世代は多くが鬼籍に。被害者の命があるうちに必ず助け出すことを目指して活動しています。

高校生の皆さんにできること

アニメ「めぐみ」を見て感じたこと、知った事をぜひご家族に話してください。街の中で「救う会」或いは「ブルーリボン運動」の署名活動を見たら、ぜひご署名をお願いします。今日聞いたことを家族や友人と話し合ってください。また、救出のアイデアがあれば教えてください。

北朝鮮は日本国内の世論を気にしています。署名活動が盛んになったことで、2002 年首脳会談において拉致を認めたのです。



講話を聴いて

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

僕が昔の前、今は昔より前の方が、この言葉が印象に残っています。この言葉を聞いて、今のこの瞬間の大切にしたいと思っています。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

妹が失踪して自殺したのかと言われていた中、自分たちが調べたことや周りの話を聞いて、自殺じゃないという考えにもっていく行動力がすごいと思いました。失踪には、共通点があるということを見つけているのを知って、今までの失踪内容を見て、共通点を見つけているのがすごいと思いました。失踪した人が「アハ」。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

拉致問題への政府の動きで、なかなかうまくいかなかったのか、あつた、動くべきところもあるんだらうなと思いました。妹の下めに動く姉の姿が、かっこよくて、大抵の人がいなくて、という気持ちと実感するところがありました。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

拉致された人たちが日本政府と、北朝鮮の政府に2重で人権侵害されているのを知って、日本も、拉致された人を取り戻さなければならぬ事実を隠して、北朝鮮は、拉致した人に日本人という生活を隠して生活させていて、拉致されている人達にとってもいいことをさせているのではないかと感じました。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

私は「拉致された家族」という言葉を何回も話しているのが印象に残りました。私も兄や弟が拉致の被害者になってしまったら本当に悲しいと思います。拉致はやっぱり拉致された家族が一番辛いと思います。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

今回の講話を聞いて、現在の失業者が872名、その内北朝鮮が拉致を認めたのが17名。こんなに多くの人が失業者になっていることが分かった。更には、失業者には共通点があり地域や年齢層、職業や得意な事、年代により様々な共通点があることが一番驚きました。

1 吉見 美保（よしみ みほ）さんの講話「家族を取り戻す ～拉致問題の解決のためにできることを考えよう～」の印象に残った言葉をメモしましょう。

○北朝鮮による拉致問題がまだ解決していないことが現実
○北朝鮮は負い国はとばかり言っていて、北朝鮮を自国を豊かにする為の策を考えていると思うが、結果する為に拉致をするのは違うと思った。

- ・ 家族と話す
- ・ 拉致問題の解決に向けて行重かしてくるような政治家を選んで投票する。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

まずは、改めて、この問題を風化させないために、自分たちと、後世に伝えていくべきだと考えました。今、現在、北朝鮮と対話をすることは難しいです。しかし、日本の世論が、また拉致問題解決したいというのが高まれば、もう一度対話などできると思います。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

自分たちが政府などによむかけるのもありかもしれないが、まず一人でも多く、この問題の重要であることに気がついてもらうことが必要なので、家族や他校の友人の会合で取り入れていくのでもいいと思った。個人としては、もっと深いところまで知り、被害者や家族の心の支えたりになれるような応援等をしていってほしいと思う。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致被害者も、拉致被害者の家族も高齢化してきているので、若い人たちの視点や思いを受け継ぐためにも、僕たちの世代が興味・関心をもち、訴えていく会を持ち、覚悟が必要なかなと思いました。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致問題について、私たちは知らないことが多いので、まず、どんなことがあったのか深く知る必要がある。他人事せず、自分のこととして考える。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

- ・北朝鮮にもう一度総理大臣が会いに行く
- ・WHOや世界中の反北朝鮮の国々に協力を依頼する
- ・世界中の人々に拉致問題をもっと知ってもらうために、外国の学校で話をしこめる。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

少しでも知識を深める事と、国際問題にして、無視してはいけない国と国との関係だと思つたので、解決してほしい。話し合いをすべきだ。学ば!!!

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

SNSを通じて若者に拉致問題について伝える。幅広い年代に知ってもらうことで、色々な解決策が見つかるかもしれない。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致問題について若者が興味をもつ理解できるようにしたい。ボランティア活動に参加していく。後は、日本の政治がもっと考えたい。日本と北朝鮮の関係をくずさないとかそんなことを考えるのではなく、早く取り返してほしいってほしい。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致問題についてもと自分で調べる事や、自分になにかできる事はないかとかが、できる事かできると思うので、解決するために自分から行動できるめにしたいです。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

フルーリボンのことか話されたのですが、中学生のときに1日だけ学校のおきなふたにフルーリボンをつけてすごすということをしたことあり。ちょうどこの時期で、たしかニュースにもなっていたおぼえあり。この学校も、こういうことすればいいのになあと思ったり。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

若い世代も高齢者も全員が拉致問題を学び、興味をもつ機会を増やさないといけない。多くの国民が日本政府に訴えなければならぬ。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

他国との交流はついてもっと興味をもつたり、現時点で国は拉致問題に対してどのよう対応しているのか、理解して、この国が私たちにできることだと思っほしい。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致問題について知ることで、そして、拉致問題に真剣に取り組んでくれる政治家に投票する。署名活動に参加する

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

・拉致問題は、どのようになっているか、どれほど恐ろしいことか、未来にわたって広めていく。

・拉致問題について、知見を広げ、興味と持つ機会を増やす。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

私が、探るためのかっどうに参加することを思いました。例えば、しほりかっどうなどは積極的に参加していきことが大切だと思いました。私が生まれてくる前はなかったもので、ニュースとかを見てしっかり理解して、自分たちができそうなことは勇気をだして行動したいと思いました。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致問題が早く解決されるために、私はもっと若い世代にこの問題について広め、たくさんの人に知ってもらい、拉致被害者とその残された家族の苦悩を他人事ではなく自分の立場に置き換えて考え、拉致問題の解決に向けた署名や募金活動に参加したいと思ってる。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

拉致された人を取り戻すというのは、私達国民にできないことだから政治家が積極的に動いてくれるように、私達が選ばなければいけない。横田めぐみさんの報道があったようにテレビでもやっているんでそういうことに興味をもって考えることが大事だ"と思いました。

2 拉致問題の解決のためにできることを書きましょう。

・国に政治家に訴え、一人でもつれさされた人か"日本に帰ってこられるように私達も署名活動に参加したり選挙に参加できる年齢になれば選挙に行き、この問題を解決にすすめている人に投票をすることで解決に近づくと考えた。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業を通じてもっと拉致問題について積極的に政治の問題に切りこめることが大事にできていると思います。"相手の国との仲が良くあるから"とかを言っているから積極的に行動してほしいから、もっと拉致の問題としておけるべきだと思ってる。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

私は北朝鮮の拉致について何も知らなかったの、今回の授業でたくさん知ることができた。思っていた以上に拉致された人が多くて、北朝鮮を日本人の人身売買もどきとあけたら、活動はいつでも参加したいと思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

全国にはほらち被害者だけではなくちの疑いがある人がたくさんいることを知って、その人や家族のためにできることが少しでも自分にあることが分かったの、少しだけでもいいけどできることがあるなら協力してみたいと感じました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今、私達はちゃんと自由があって人権が守られている中で生活しているが、その平和は日々やりそれとは真逆の生活をいきなり強いられた人々がいるというのを忘れてはいけない。生活する中で、町や駅で署名活動などの拉致問題に関する活動をしている方を見かけたり、進んで協力していきたいと思ってる。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

北朝鮮の身が、て士がよく伝えた。悪質な行為で人々を縛り被害者やその家族を絶望に落とすことが許せなかった。本当に北朝鮮を改革する必要があると思える。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

実際に被害を受けた家族の話と聴くと、やはり現実味があるなと
感じました。日本国内のことなのに、初めは全然協力的ではなかったり、
話が進んでいけばいい、などのことを聴くと、長い年月、どれほど苦しい思いを
されたのかなと考えてしまいます。拉致された人々の家族はもう高齢で、
どんどん拉致についても忘れられるのかと書いてしまいます。
だから私は拉致問題について調べたり、今日あったことを

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致の怖ろしさをあらためて感じました。この状況での家族の存在は
本当に大事で、信じつづけることの大切さを実感しました。
また、解決策を考えた時、全然思いつかなくてすごい自分
でもショックだし、何かないのかもっと考えたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致被害者やその家族は、今もまだ「返してほしい」「帰りたい」という心の
底から願っているのだ。自分達は、そういう人達が居ることを知ったけど、
助産は何か出来、向をしたらいいのかなとつづいて考えさせられました。
今後もしかりと目を向けたい生活していきたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

遠い話ではなく、同じ日本人が拉致されているということをもっと近いことだと思ってくれれば、考え
ていかなければいけないと感じました。北朝鮮の国民を責めるのではなく、むしろ国家による大き
な犯罪から目を背けず、単独でいかなければならない。拉致被害者の多くは、親の死を見届け
られないまま今も北朝鮮で過しているかもしれない。生きていくかどうかも分からないけれど、ひ
とりで多くの命が、無事なうちに、救える助けをしていきたい。
また、この問題は世界的問題として、世界中のすべての人が考えなければならぬ深刻な問題
だと思ふ。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回、片見さんの話を聞いて、拉致された人は前代無例の北朝鮮に送られ、朝鮮に送られ、都府の
いい人が拉致されたことを知った。拉致は北朝鮮に送られるのはいいけれど、自分たちの
国に送られることはないかと思った。ブルーノの運動会のうさぎを今日初めて聞かされた。何うか
見かたの品物かいいと思った。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

岐阜県にも被害者がいることがびっくりしました。今まで拉致問題に
ついてあまり考えたことがなかったけど、前回からのホールの前で深く
考えるようになりました。他人事と思ったりダメだと思ったりしました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題についてほとんど知らなかったが、前回と今回の2回で
とても深く知ることができた。まだ拉致問題について知らないこともた
くあると思うのでもっと知りたいと思った。また、この問題を深くなく
広めていくことが大切だと思ふ。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業でふだん聞けなかったような話をきくと、かっこいいま
じの映画や実際に吉田さんの話をきくと、北朝鮮の政府に
憤りを感じた。たぶんか自分ができることがあんなに力にでき
たいと思ひました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致事件が多く発生しているにも関わらず、
防止ができてなかったり、未だに解決できてない
ところから日本政府の行動力の無さを疑って
しまう。そして北朝鮮はこんな馬鹿なことはやめて自力で発展
できるよう努力するよって考えた。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

特定失踪者が872人いることにおどろきました。吉見さんの話の中に、北朝鮮は日本の世論を気にして拉致を認めるという政治問題とな、てしまっているのかためにはいかと思います。これは人権問題であり政治交渉のカードとして使、つけないと感じました。また拉致から救い出せない人はたくさんいる状態で、国連や外国の協力も大切になるのでないかと思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

ニュースで7/7に取上げられてい、そのま、くわして知らなかったの、総合を通して知られてきたです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

みほさんの話を聞いて、「命あるうちに救い出して欲しい」本当にその通りだなと思いました。自分にできることがある。それが分かったの、はよい運動にはよいです。周りに、この状況を伝える。アイデアを考える。いろんな人が、これをやる、そのうち、人に自分もなりたい、と思いました。少しでも、苦しんでいる人の役に立ちたいと考える人が増えて欲しいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業を振り返、特定失踪者はとても多く、しかも岐阜県内にもいると知りおどろきました。吉見さんが最後に言っていたように「被害者の70%は60歳以上、なのでまだ生きている間に日本へ帰って来られると良いなと思います。自分の妹がいきなりいなくな、ってしま、った吉見さん、今も妹をさがして早く妹と再会できると良いなと思うし北朝鮮も人権があるのに、いら、ばんしてはい、けな、いことをして、し、今生きている被害者を全員帰、て来、れるようにして欲しいと強く思、いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

以前、たまたまネットで見ていた時、北朝鮮脱北者の方の国際会議でのスピーチを見かけたので見てみました。拉致といったら「北朝鮮全体」と思、うけれど、スピーチをした女性でも北朝鮮の政府を批判して、いました。うらむべきは政府、を、こう正しい知識を入れて活動に耳を傾、けるべき、と思、いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

少しの可能性を信じて闘う家族の姿を見ると、自分達若者もともに闘わない、な、と思、った。こういった問題を政治家にも本気で向き合、てもらうためにも選挙、とい、った所でも、し、かり考、えて選、ぶべきだ、と思、いました。また、拉致被害者の方たちの気持ちを背、負、って今ある幸せ、当、たり前、を大切にしながら生きてい、きたい、と思、います。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題は、様々な思、惑、が「飛、び」か、つ、て、いる複雑な問題、な、つ、て、いる。それを解決するためには、私、た、ち国民、が「政府、が」解決、へ、働き、か、けるよ、うな世、論、を形、成、して、い、くこ、と、が「大、切、だ、」と思、つ、た。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業で、講話を聞いて考、える、形、だ、た、け、ど、拉、致、問、題、が、よ、り、身、邊、に、思、う、こ、と、だ、つ、た。今、考、える、こ、と、は、す、こ、し、限、ら、れ、る、と、思、う、の、で、で、き、る、こ、と、も、や、つ、つ、し、て、も、か、に、な、れ、な、い、と、思、う。そ、の、後、の、授、業、で、も、し、か、り、と、深、く、考、え、て、い、た、い、と、思、い、た。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

解決、とい、う、こ、と、は、か、か、ら、ず、自、分、と、高、準、な、存、在、で、あ、る、と、思、っ、て、い、た、け、れ、ど、し、よ、め、に、参、加、あ、る、こ、と、は、私、で、も、簡、単、に、で、き、る、の、で、自、分、も、で、き、る、こ、と、が、あ、る、と、分、か、つ、て、大、喜、し、か、つ、た。政府、だ、け、で、な、く、自、分、も、で、き、る、!!

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業や講話を聞いて、やはり実際に拉致された人の家族の実際の声を聞いて良かった。でも個人的には、その事件の内容だけでなく当時の吉見さんの心境なども聞きたかった。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

一週間ほど前、北朝鮮に拉致されたと考えられていた人が、日本国内で見つかったというニュースを見た。拉致問題や拉致被害者、その家族を支援する方は多く、しっかりとした理由、事実があり、拉致されたと考えられている方も十分理解している。しかし、何かはせいにして視野を狭め、出来ることを繰り返すのは、少し疑問に思う。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回は色々な人の失踪場所や年齢も言及されていて、かなり詳しくインタビューがしやすかったし、具体的にどんな活動をしているのか聞いてほしい。話した一前日と同じな「けど」一刻も早く拉致問題は解決してほしいと思う。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

先週の「めぐみ」を通し、今回の講話を聞いて拉致問題のしんくさがより具体的に分かりました。私にできる事は、今の生活に専念すること。さらには何かはありますが、拉致問題を話し合ったり署名活動に参加するなど日本人として向き合っていくと思いたい。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致されたから何年かたつた今でも諦めず、今回もこうやってお話をしてくださってほしいなと思ったし、私にできることなら協力して解決したいと感じました。